

新たなビジネス手法の導入による  
宿泊業を核とした旅行サービス実証調査等  
の実証事業取組事例集

はじめに	3
「新たなビジネス手法の導入による宿泊業を核とした旅行サービス実証調査」とは	
○旅館くらしき	4
「日本旅館＋地域の料理屋」の連携におけるダイニングエクスペリアンスの拡充と連泊商品の開発	
○扉ホールディングス株式会社	9
北アルプスの水と自然に育まれた長寿の里 satoyamaウェルネスプログラムの開発	
○小淵沢アートアンドウェルネス	13
ハヶ岳とつながるサステナブルな旅行体験	

来訪客にとって観光地の拠点となる宿泊業は、地域の歴史・文化に裏付けされた固有のストーリーが集約された「地域のショーケース」を担う存在であり、建築に使う資材や食事に使う食材、その他あらゆる面において地域に根差す事業者との経済的結びつきが強く、地域経済の発展を牽引しています。

こうした観点を踏まえ、観光庁では、宿泊事業者が核となって提供する新サービスの開発、販売支援を行い、宿泊事業者の価値向上を図り、宿泊業を中心とした稼げる地域づくりを目指す実証事業（8団体）を行いました。

それら実証調査における実績やノウハウをまとめたものが「新たなビジネス手法の導入による宿泊業を核とした旅行サービス実証調査等の実証事業取組事例集」になります。

今後のみなさまの活動の参考としてお役立てください。

## 「日本旅館＋地域の料理屋」の連携における ダイニングエクスペリアンスの拡充と、連泊商品の開発

企画タイトル	「日本旅館＋地域の料理屋」の連携におけるダイニングエクスペリアンスの拡充と、連泊商品の開発
企画実施場所・実施時期	2022年9月から2023年2月の間、岡山県倉敷市の「旅館くらしき」及びその近隣のレストランの連携のもと実施
企画のターゲット	2泊以上の滞在を求める欧米富裕層旅行者

### 実施内容

- 2泊以上の滞在を求める旅行者向けに、旅館が近隣のレストランと連携して、2泊目以降の夕食を旅館提供の食事ではなく、代わりに近隣のレストランにおいて提供するプランを構築

- 例) 1泊目 懐石 (@宿泊旅館)  
 2泊目 イタリアン (@近隣レストラン)  
 3泊目 寿司割烹 (@近隣レストラン)

- 旅行者のニーズに応じたレストランの予約、料理のオーダー、支払いなどの調整を、基本は一括して旅館が旅行者の予約時に実施



旅館への2泊以上の滞在をしやすくするとともに、そのことで地域への経済波及効果を高めることができる

### 実施画像



旅館くらしきが位置する  
倉敷美観地区



連携レストラン

事業者名	旅館くらしき～穴吹エンタープライズ株式会社～
所在地	岡山県倉敷市本町4-1
主な業種	旅館業
問合せ先	086-422-0730
HP	<a href="https://www.ryokan-kurashiki.jp/top.php">https://www.ryokan-kurashiki.jp/top.php</a>

## 現状・課題

- 欧米富裕層を中心として、旅館の滞在に興味を持つ旅行者が増えているが、旅館の提供する夕食のオプションに限りがあり、多くの旅行者が1泊の滞在にとどまっている。
- また、2泊以上の連泊客からは「地域のオススメのレストランで食事をしたい」という声は多数もらっていた。（ただしその場合でも、当日のリクエストが多く、当日混雑していたため、リクエストに応えられなかった。
- そのため、地域への滞在日数も限られ、地域への経済波及効果も限定的なものとなっている。



## これに対する戦略

- 旅館が近隣のレストランと連携することにより、2泊目以降の夕食のオプションを増やすことで、旅行者に対して2泊以上の連泊を促す。
- 旅館だけでなく、地域のレストランにおける消費を促すとともに、より長期の滞在を通じて地域全体への経済波及効果も高める。
- 旅館が予約をとりまとめることで、ニーズに応じた対応ができる。

サービスの概要

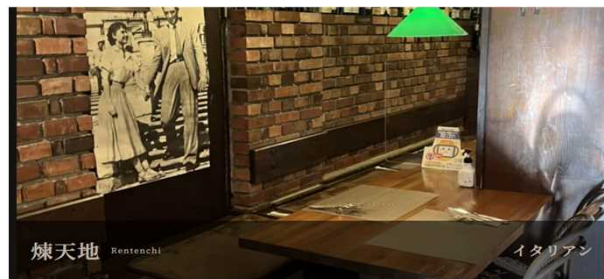
滞在2日目からの夕食を旅館くらしきが厳選、近隣レストランで食事を楽しむ

【連携レストラン（6店舗）】



倉敷一会 Kuraabiki Ichie 日本料理

京懐石を学んだ料理長が季節の献立を地元食材を中心に組み立てた懐石料理を用意。



煉天地 Rentenchi イタリアン

地産の魚介を使い、シンプルかつ母の味をモットーとしたイタリア料理のコースを用意。



雲 Kumo 日本料理

食材は地産、器は民藝にこだわり、懐石料理を提供。精進料理のコースも選べる。



Bricole ブリコール 日本料理

東京で修業した料理長が地産の素材を季節の懐石料理に仕立て、こだわりの器をもって提供。



はしまや Hashimaya イタリアン

南イタリア料理を瀬戸内の山海の地産物を用いたフルコースで用意。



浜吉 Hamayoshi 和食

地元の食材や地酒、器、醤油などの調味料も含め倉敷を感じてもらおう和食料理を提供。

実現に向けて工夫した点

- ・ レストランとの連携にあたっては、旅館が従来持っている地域におけるネットワーク力を最大限に活用
- ・ 旅館の客層レベルに合わせたレストランを連携先として選択するとともに、レストラン側にメニューの開発を依頼
- ・ 外国人対応に不安を抱くレストランも多いこと、また旅行者側の利便性も考慮し、レストランの予約、料理のオーダー、支払い※などの調整を、基本は一括して旅館が旅行者の予約時に実施する仕組みを構築

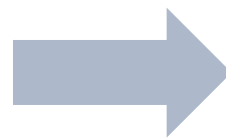
※レストランにおける食事代（追加メニューと飲み物代を除く）は旅館のチェックアウト時に旅館に支払い、後日、旅館からレストランに支払い

予約画面

<旅館くらしきの公式HP>



<特設サイト>



<予約時に選択>

ご希望のレストランを3つお選び下さい※いずれかのレストランにて手配させていただきます。 必須

倉敷一会  
  煉天地  
  雲  
  Bricole  
  はしまや  
  浜吉

この後旅館から予約者へ連絡をし、レストランのアレンジを行う

## 関係者からのフィードバック

### 旅行者

- ・旅館の夕食に限らず、地域のレストランで日本料理やイタリアンなどが食べるなど料理の選択肢が増えることで満足度が上がった。
- ・レストランにおいては提供可能時間が限定的になり利用しづらいこともあった。またコース料理は量が多く、フードロスに繋がってしまうように感じた。

### 旅館スタッフ

- ・2泊目以降に旅館以外の場所で料理を提供することにより、旅館の料理の個性が際立つ結果となった。
- ・夕食を絶対に提供しなくてはいけないという義務感にとらわれないことにより、労働時間の削減、ワークライフバランスの向上に繋がることが分かった。

### 連携した近隣レストラン

- ・これまでは地域に滞在しながらもレストランを利用することのなかった海外富裕層旅行客を旅館の信用で受け入れることができ、新たな顧客層の獲得に繋がった。
- ・旅行者が時間にルーズな場合があったため、旅館側からのより強いコーディネートに期待したい。

### その他地域の関係者

- ・旅行者が地域に滞在し、地域を感じてもらえる取組のため、自施設でも取り組みたいとの声が多く挙がった。

## 今後、改善したい点や目標

- 2泊目以降の地域レストランとの連携によって、旅行客にとっても旅館にとってもメリットがあることが分かったため、**連携先の拡大**に努めていきたい。
- 今回はコースのみの提供であったが、アラカルトで提供するなどの**フレキシブルに対応できるように調整**が必要。
- 旅行者の多種多様な要望に添いながらも、レストランの負担を軽減していけるように**コーディネーションを取って取り組んでいきたい。**



## 北アルプスの水と自然に育まれた長寿の里 satoyamaウェルネスプログラムの開発

企画タイトル	北アルプスの水と自然に育まれた長寿の里 satoyamaウェルネスプログラムの開発
企画実施場所・実施時期	2022年10月から2023年1月の間、長野県松本市の 「Satoyama villa 本陣」と近隣プレイヤーの連携の もと、松本ならではのウェルネスプログラムを実施
企画のターゲット	日本国内及び海外の富裕層旅行者

### 実施内容

日本一の長寿県に根づく「生活の知恵」をベースとし、北アルプス・信州の「自然の力」を活用した本格的なウェルネス・サービスプログラムを開発

<リゾートホテル>

古民家を改装した施設「Satoyama villa本陣」に宿泊

<ウェルネス・キュイジーヌ>

豊富な伝統野菜と発酵食など信州に根付いた昔ながらの料理法や地域の食材を使った食事の提供

<ウェルネス・アクティビティ>

信州の自然・文化体験を心身の健康に繋げる、上質なアクティビティ・プロダクトの提供

<プロダクト>

信州の農産物・木の実・果物・薬草などを活かした軽食や健康関連商品の開発

日本ならではのホンモノのウェルネスリゾートを生み出すこととともに、信州・松本のブランド力・稼ぐ力を向上させ、地域固有の生活文化を守る。

### 実施画像



Satoyama villa本陣

「ヒカリヤニシ」での  
ウェルネスフードの提供

事業者名	扉ホールディングス株式会社
所在地	長野県松本市深志1-2-18 コスモビル 3F
主な業種	旅館業、ホテル業、飲食業、 レストラン事業、ブライダル事業
問合せ先	0263-88-3266
HP	<a href="http://tobira-group.com/recruit/">http://tobira-group.com/recruit/</a>

## 現状・課題

- 世界的にウェルネスツーリズムに対する注目が高まっている。
- 長野県は日本一の長寿県であり、そこから得た「生活の知恵」と、北アルプス・信州ならではの「自然の力」が存在する。
- 一方で、里山には空き家になり老朽化する古民家がいくつも存在するとともに、高齢化による農業の担い手不足などの問題から、里山の価値喪失の危機にある。



## 現状・課題に対する戦略

- 世界的に成長著しいウェルネスツーリズム市場をターゲットに、長寿県である長野の「生活の知恵」と、北アルプス・信州ならではの「自然の力」を活用することで様々なプログラムを開発し、本格的なウェルネスリゾートを目指す。
- 地域資源を最大限に活用し、地域ならではの商品・サービスを提供することで、里山固有の生活文化を守り、次世代へ繋いでいく。

サービスの概要

地域資源を活用した食・アクティビティ等のサービス、多様な回復プログラムによるウェルネスリゾート滞在を提供

①リゾートホテル

古民家を改装した施設「Satoyama villa本陣」に宿泊

②ウェルネス・  
キュージーン

信州に根づいた昔ながらの料理法や地域の食材を活用して、健康的な美食を体感できるレストラン

施設・プログラムにおける  
4つの価値を提供

③ウェルネス・  
アクティビティ

信州の自然・文化体験を心身の健康に繋げる、アクティビティ・プログラム  
例) 瞑想、護摩炊き

④プロダクト

信州の農産物・木の実・果物・薬草などを活かした軽食や健康関連商品

<ウェルネスプラン予約HP>

夕食



ヒカリヤニシ (長野県松本市大手4丁目7 14)

ヒカリヤニシディナー: 18:00~21:00

< WELLNESS GASTRONOMY >  
扉グループ宿泊特典付 ウェルネスガストロノミー  
「扉グループ宿泊者限定 シェフの一皿の特典付き ウェルネスガストロノミー」

[メニューをみる](#)

**注意事項**

- ・ドレスコード・男女共にスマートカジュアルを推奨しております。ハーフパンツやサンダル、軽装・露出の多い服装は入店をお断りする場合がございます。
- ・小学校中学年以下のお子様連れのご予約はフロア一席ではお受けできません。個室の空状況を店舗へご連絡いただき、ご確認をお願いいたします。室料/3,000円

実現に向けて工夫した点

- ・ 世界一の長寿県を支える北アルプス・信州の地域資源（自然・食・文化）を活用することにこだわり、世界でもここでしか体験できないウェルネスプログラムの開発に注力を置いた。
- ・ 地元の物産・サービスを最大限に活用することで、地域にお金が落ちる仕組みを構築。
- ・ 世界のウェルネスマーケットを熟知している外部有識者と、地域に根付いた伝統・文化を熟知している地元住民の両者から話を聞き、両方の意見を掛け合わせることで、この土地ならではのフードやアクティビティを開発。
- ・ 旅ナカにとどまらず、旅アトも日常利用できる地域のものを使用した商品を開発し、継続して地域にお金がおちる仕組みを構築。

## 関係者からのフィードバック

### 旅行者

- ・ 築100年を超える本陣に宿泊し、地域に根付いた文化（密教）、長寿食（発酵文化）に触れることができ、ここでしかできないプログラムを体験できた。

### 料理人

- ・ お客様の中には食材から調理法まで地元やウェルネスにこだわったメニューに価値を感じてお越しになった方もいるので、ここでしかできないオンリーワンの体験を感じてもらえて良かった。

### その他地域の関係者

- ・ 今までも宿と関わりはあったが、今回一つの目標に向かって取り組めたことで我々にも大きなメリットがあった。

## 今後、改善したい点や目標

- 今回地元ならではのウェルネスプログラムを開発し、広く需要があることが分かったため、地域の多くの人とつながりながらより良いウェルネスメニュー・アクティビティ開発に繋げていく。
- 旅行者が旅アトも継続して体感できる **ウェルネス食品の開発、更なる販路展開。**

## 八ヶ岳とつながるーサステナブルな旅行体験

企画タイトル	八ヶ岳とつながるーサステナブルな旅行体験
企画実施時期・実施場所	2022年10月末～2023年1月末 山梨県北杜市小淵沢周辺 小淵沢アートアンドウェルネス
企画のターゲット	サステナビリティへの関心が高い20～30代

### 実施内容

- ホテルの仕掛け**：新たなサービスの導入や改善を通じて、本プランで宿泊することでサステナビリティに寄与できる「容易」な選択肢を提供
  - サステナブルトラベル誓約書の導入
  - マイボトルを使った旅の楽しみ方の提案と使い捨てペットボトルの水提供廃止
  - 宿泊料金の一部を寄付に充当（宿泊者による投票制度）等
- 地域と作るコンテンツ**：地域の声を反映したセルフガイドツアー・体験アクティビティを造成し宿泊プランに組み入れる
  - 地域事業者と造成した地域の魅力を深く楽しめるアクティビティ（曜日ごと）
  - 湧水地や無人八ヶ岳野菜商店など盛り込んだセルフガイドツアーと地域マップ
- サクラクオリティ An ESG Practice取得**：サステナブルな宿泊施設として発信
- その他**：特設サイトでエシカルコーディネーターによるインタビュー記事や、責任ある旅行者へのガイダンスなども紹介。社員研修も実施し、従業員参画型サービス造成

### 実施画像



16:00

いよいよチェックイン。  
“縄文”のインスピレーションを宿す建築の中で  
革新と大自然の融合を体感する。

今回のサステナブルツアーの中核を担うのが、  
ホテルキーフォレスト北杜。  
小淵沢特有の自然美とアートを体現したブティックホテルで、他にはない、特別なステイを堪能してください。

あなたが「サステナビリティ」と向き合う、最高の空間が待っています。

**サステナブルステイ特設サイト**

サービスの概要

サステナブルツアーとして八ヶ岳を舞台に五感で愉しむ多彩なコンテンツを用意。予約時に曜日ごとに異なる特別体験を選択。チェックインの際にサステナブルトラベル誓約書、料金の一部を持続可能な観光に役立てるための寄付先も選ぶことで責任ある旅行者としての意識を醸成後、予約時に選択したサステナブルツアー特別アクティビティを体験。サステナビリティの魅力を再発見していただく。

サービスの流れ

予約前

サステナブルステイ特設サイトにて八ヶ岳を持続可能な視点で紹介

- ・ 「サステナブルな地域」としての八ヶ岳への興味を促進
- ・ サステナブルなホテルというイメージ作り
- ・ 地域交流アクティビティをクローズアップし本プランへの興味を促進
- ・ 特設サイトから予約サイトへ導線を確保し、スムーズな購買行動へ誘導 等

チェックイン

スタッフによるゲストコミュニケーションで「サステナビリティ」を伝える

- ・ サステナブルトラベル誓約書の案内
- ・ ペットボトル廃止とマイボトル（ギフト）、飲料湧水地の案内
- ・ ホテル建築のストーリーとコンセプト紹介
- ・ サステナブルガイド冊子の客室設置 等

ステイ

旅行者自身で「サステナビリティ」を楽しむ

- ・ 特設サイト上のセルフガイドツアー（電動自転車利用可）
- ・ 宿泊プランに含まれているアクティビティに参加し地域と交流
- ・ ビーガンメニューの食事や湧水地での水を味わう 等

チェックアウト

旅後にも繋がる地域支援や環境保護へのアクションを促す

- ・ 「投票制寄付制度」の投票
- ・ サステナブルトラベル誓約書署名参画者へのスモールギフト

事業期間後

- ・ 宿泊客一人当たりの二酸化炭素排出推定量を平均値で割り出し、VCS\*認証カーボンクレジットを購入
- ・ 「投票制寄付制度」で最も得票数が多かったプロジェクトへ宿泊料金の一部を一括寄付

\* VCS: Verified Carbon Standardは米国Verra社が開発管理する、世界で最も取引量が多いカーボンクレジット

いにしえから「持続可能な暮らし」  
を体現してきた、八ヶ岳。

“サステナブル（持続可能）”な生き方が求められる今の時代。  
でも八ヶ岳では、太古より自然環境と人間社会が共栄共存してきました。  
この土地へ訪れることは、その生命の循環の一部となること。  
そう、あなたと八ヶ岳が生み出すシナジーこそ、サステナブルステイの真髄です。



### 事業のポイント

- ① 旅全体を通してサステナブルな旅行体験を実現できる新たな宿泊プラン「サステナブルステイプラン」
- ② サステナブルツーリズムの国際基準GSTC-Iを基に、地域社会と環境に考慮したサービス・体験を造成
- ③ 特設サイトで宿泊客へ事前にサステナブルな地域やサービスの理解促進を図り、満足度の高い体験を実現
- ④ 社員トレーニングで現場の意識醸成と新たなアイデア創造を促し、長期的な経営戦略への自走化を図る

### 課題

- ・ **サステナブルな宿泊施設の欠如**：八ヶ岳は「持続可能な地域」として注目を浴びているが、「持続可能な宿泊施設」としてアピールできる施設が無い
- ・ **持続可能な旅行を選択する上での煩雑性**：持続可能な旅行として旅行客が楽しめる観光コンテンツは存在するものの、それらが線で結ばれた「旅行体験」が存在しない（持続可能な旅行は世界の8割以上の旅行客が重要と答えているにも関わらず実際に行動に移せない理由の一つに、サステナブルに旅行することが容易でないことが考えられる。World Economic Forum 2022.11）



### 課題に対する戦略

**サステナブルステイプランを造成**  
 宿泊に留まらず、旅全体で八ヶ岳の暮らしに直接触れる機会を盛り込んだ、持続可能な一連の旅行体験を、新たな宿泊プランとして組み立て提供  
 （造成にあたっては、GSTC認証取得の旅行事業者Tricolageと連携）

### 有識者アドバイス

#### サステナブルポイントについて

国際基準GSTCの4つの柱（持続可能な経営管理、社会経済、文化、環境）の観点をもとに個々のコンテンツや取組内容のチェックを行い、切れ目のないサステナビリティ要素の可視化に努めることなど。

※ GSTC（グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会）：持続可能な旅行及び観光の基準を制定、管理する国際非営利団体

事業者名	株式会社アルテミス
所在地	山梨県北杜市小淵沢町
主な業種	宿泊業・ゴルフ場事業サービス業・レストラン業
問合せ先	0551-36-4411
HP	<a href="https://www.kob-art.com/">https://www.kob-art.com/</a>
特設HP	<a href="https://kob-art-sustainability.com/">https://kob-art-sustainability.com/</a>
連携事業者	Tricolage株式会社 サステナブルツーリズムを軸とした富裕層旅行及び地域観光コンサルティングを提供。宿泊施設や地域事業者と連携し地域コンテンツを開発。GSTC認証事業者としての知見を活かし、海外事例も参考としたサステナブルな旅行を提案。

## 今回のサービスを思いついたきっかけ

- 「ローカルから世界へ」をテーマに、山梨県、八ヶ岳、北杜市、小淵沢町の特性を精査した際「**サステナブル**」意識が他県より高い事が分かった。
- 世界的なトレンドになりつつある**サステナブルツアー**を終始一貫型で造成することでこの**土地の魅力が一層伝わる、そして地域の売りになる**と考えた。



## 造成や販売後の宿泊客や地域、関係者からの反応

- シーズナルのアップダウンが激しく、特に**冬季集客が課題**となっている八ヶ岳のエリアで何を「集客フック」にできるか各施設が悩んでいる中、本件により**競合他社より相談**を頂くようになった。
- 宿泊客へのヒアリングで最も楽しんだ内容の回答として「**サービス（体験）に地域性を感じられ本物であった**」「**地域や歴史について学べた**」という声をいただいた。

## 実施（造成や販売）にあたって苦労した点

- 造成期間が1ヶ月と非常に短く、地域の事業者への説明や協議の時間を十分に取ることが叶わなかった。結果的に、事業期間中にアポイントメントを取ることのできた事業者のみとの協議となり、かつ販売開始までにオペレーションを整えられるものに限った企画となったため、やりたいことベースよりできることベースでの制作となった。
- 季節性負荷が冬季にかかるエリアにおいて冬季に実証という極めて厳しい状況下での実証事業となったが、それにより**冬季集客の可能性も発見**する事ができた。

## 造成後の課題

- 国内旅行者におけるサステナブルツーリズムの認知度は依然として低い。本プランは「成長性」は見込めるものの「即効性」はなく、なぜやるのか？に対してステークホルダーの合意を取ることが難しい。世界の動向からも、今すぐに対応しないとイケないという危機感、緊急性があるという認識を持った上で育て上げる必要があると実感。

## 企画を実現するために工夫した点

- 「サステナブル」という、掘り下げを始めると非常に深くなっていくコンテンツにおいて、商品として「プロダクトとしての適正深度」の計測及び設定が非常に困難であった（こだわり始めるとキリがない）。
- 工夫した点として、あくまでも「**楽しみながら体験できる内容**」としてハードルを下げつつ、トレンドを意識することで、宿泊客にとって受け取りやすい内容にする事ができた。

## 今後、改善したい点や目標

- 「**ゲストが接したスタッフの意識レベル**」により温度感が決定する傾向を見てとる事ができた。スタッフ教育及び意識醸成が、このプロダクトの真髓になる為、現場スタッフだけでなく、**社内全体の意識醸成**をして行きたい。







事業のポイント①

旅全体を通してサステナブルな旅行体験を実現できる新たな宿泊プラン「サステナブルステイプラン」

⇒ 地域と繋がるアクティビティやセルフガイドツアー（詳細次頁）に加え、本プランで宿泊することで自ずと地域のサステナビリティに貢献したり、自らサステナブルな行動をしたくなるような仕掛けを盛り込んでいる。



**サステナブルラベル誓約書**  
サステナブルな旅の始まりを意識づけることを目的に、チェックイン時にフロントにて、6項目からなる旅行客の責任ある行動指針への誓約書署名について案内。（パラオプレッジを参考に作成）



**環境にやさしいアメニティ**  
竹歯ブラシやオーガニックシャンプーなど、製造工程の配慮にこだわった製品を使用。これまで使い捨てのミニボトルを設置していたが、使い捨てない大きいボトルに変更（フロントで購入可能）。  
スタッフ研修では、竹歯ブラシの包装や、朝食のメニューに使用する紙の見直しなど、今後の改善意見が出ている。



**マイボトルギフト**  
使い捨てペットボトルの部屋入れを廃止し、本プラン限定で、**地域の有名な観光施設**である中村キース・ヘリング美術館の土産品であるボトルをプレゼント。**館内バーに八ヶ岳名水の入った水差しを設置**した。また地元が地域の魅力としてお勧めする湧水地を案内（マップにも掲載）し、環境配慮の視点に加え、**地域を回るきっかけづくり**とした。



**投票制寄付制度**  
地域に関わる3つの支援先\*から、宿泊客は応援したい活動に投票。最も得票数が多かった活動に、ホテルから一括して寄付。**自身の行動が社会に少しでも還元される「気持ち」を醸成。**  
（チョコレートブランド imperfect を参考）

\* ①北杜市環境保全協力金(北杜市) ②北杜市文化スポーツ振興基金(北杜市) ③国際児童絵画コンクール(キース・ヘリング財団): 支援先は山梨県や北杜市等とも協議の上設定し、今後適宜支援先の見直しも検討予定

サクラクオリティ An ESG Practice



事業内で、ホテルのSDGs認証であるサクラクオリティ An ESG Practiceに申請。1 御衣ザクラのラベルを取得し、信頼ある第三者から認められたサステナブルな宿泊施設として発信可能に。

**カーボンオフセット** Verified Carbon Standard  
宿泊客一人当たりの平均CO<sub>2</sub>排出量を計算し、国際認証基準VCSが発行するクレジットを宿泊料金から購入し相殺。

**ヴィーガンメニュー創設**  
系列ホテルオープンにあたり、グループ方針としてインバウンドがターゲットとされ、サービス内容強化のためヴィーガンメニューの検討が開始されていた。フレンチレストランでヴィーガン対応の経験を持つ料理長が、本プラン開設にあたり併設ステーキレストランにてヴィーガン対応を開始。（新店舗の計画あり）

事業のポイント②

サステナブルツーリズムの国際基準GSTC-Iを基に、地域社会と環境に考慮したサービス・体験を造成

⇒ 本プランは、GSTC-I (GSTC観光産業向け基準) を軸に、地域事業者・住民と共に地域の社会的・経済的利益の最大化を図っている。

本事業で注力したGSTC-I基準

4つの柱	[A] 持続可能な経営	[B] 社会経済への影響	[C] 文化への影響	[D] 環境への影響
本事業で注力したGSTC-I基準	A4 従業員の参画	B1 地域支援	C2 文化遺産の保護	D1.1 環境に配慮した購入
	A5 顧客の体験	B3 地元での購入	C3 地域文化や遺産の提示	D2.1 温室効果ガスの排出
	A9 情報および解説	B4 地元事業者		D2.4 廃棄物
	A10 地域への参画	B9 地域住民の生活		D3.3 自然地域への訪問

- ✓ 地域事業者の元へ足を運び、本プランの目指すことや宿泊客に届けたい体験を共有。それを受けた事業者からの意見をもとに**アクティビティを共に企画**。
- ✓ 事業者の思いをヒアリングして、表面だけでなく**地域の本物の歴史や文化、思いを伝える記事**を制作。
- ✓ **周辺地域に経済的利益**がもたらされるよう、観光スポット以外にも地元の人が利用する飲食店や店舗、その他知られざる場所など約60軒をマップに掲載。
- ✓ **宿泊客がマップ上のスポットを訪れやすくするため**、セルフガイドツアーを制作。

サステナブルマーク

GSTC-Iの柱である**社会経済・文化・環境のサステナブルマーク**をサイト内の関連する取組や体験などに表示。GSTC-IのA9(情報および解説)が求める**適切な行動についての説明**をわかりやすく示す。

地域とつながるアクティビティ (一例)



肌で感じる八ヶ岳有機農家体験  
～Farm to Table in Yatsugatake～

環境に負荷をかけない形で永久的に農業を続けるパーマカルチャーのコンセプトで農業を実践する有機農家において、野菜収穫と八ヶ岳でのサステナブルな暮らしを体験する



八ヶ岳に満たされるYOGA&LUNCH  
～YOGA & LUNCH in Community～

施設の一部を一般に開放し、宿泊客だけでなく地域住民も参加できるヨガ体験。ヨガの後は、地元食材で作られたランチボックスを地元のカフェからケータリングし、**地域の人との交流**を楽しむ

セルフガイドツアーとマップ



日本一の水を訪ねて。  
大滝湧水 (おおたきゆうすい)

大滝湧水は、日本名水百選で山梨1番のおいしさを誇る湧き水。古くから生活用水として住民を支え、また、水田灌溉や養殖用水に利用される等、地域社会への貢献は計り知れません。地元の方々に聞いて、あなたもマイボトルを持参して、ぜひ飲み水を汲みに行ってみてください。

大滝湧水公園

周辺おすすめスポット

湧水の周辺にあるお蕎麦屋さんで、南アルプスと八ヶ岳の絶景を眺めながら、心と体を整えてはいかがでしょうか。

蕎麦と料理とお酒 PAUSE (ポーズ)

地域の歴史が分かる信玄棒道や八ヶ岳の水が祀られる神社、その他ガイドブックでは紹介されない**大滝湧水 (水汲みスポット)** などの**お勧めの場所**を紹介

— 八ヶ岳とつながるマップ —





事業のポイント④

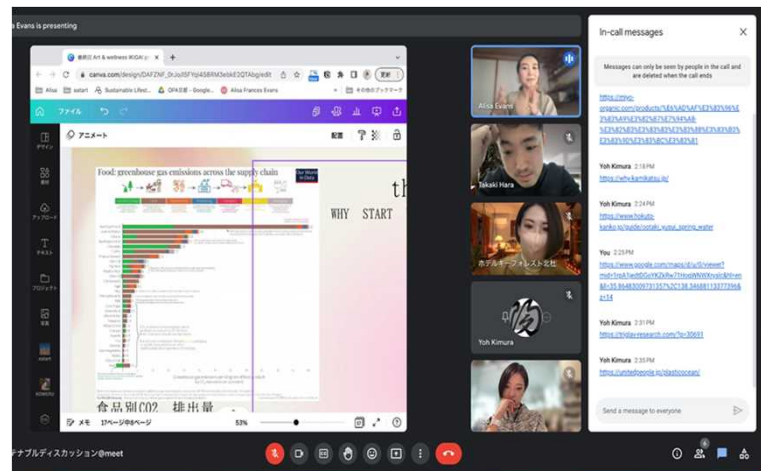
社員トレーニングで現場の意識醸成と新たなアイデア創造を促し、**長期的な経営戦略への自走化**を図る  
 ⇒ 当事業を持続的に実施するためには、現地スタッフや関係者自身が取組に参画することが必要不可欠。これは、GSTC-I基準「(A4) 従業員の参画」に準拠する。従業員自身が持続可能性について理解し自ら問題意識を持つことで現場から新たなアイデアが創造されていくことを目指し、従業員向けに定期的な研修を実施。長期的なホテルのサステナビリティに関わる経営戦略の一環として取り組んだ。

社員トレーニング

ホテルマネージャーや現場スタッフに向けて、エシカルコーディネーターを招きホテルのサステナビリティに関する研修を複数回実施。意見交換や現場の改善を行い、サステナブルステイをスタッフ自身がゲストに提供できることを目指した。

スタッフの意見・改善例

- マイボトルの設置と案内方法
- 飲料水サーバー設置場所の明確化
- アメニティ包装紙やメニューに使用される紙の代替案
- 朝食で提供する地元食材の案内方法



オンライン・現場トレーニングの様子

**取組成果**

**アジア人の95%が旅にサステナを求めている！日本で叶うサステナ旅**

#SHOW CASE 2023.01.30

コロナ禍で制限されていた旅行は徐々に回復を見せています。

そんな中、現代の旅行では「サステナブル」がキーワードになりつつあります。オンライン旅行会社Expedia Groupが今年はじめに行った調査で、アジア人旅行者の95%以上の旅行に「サステナブル」を求めていることが分かりました。

オンラインメディア『SDGs MAGAZINE』に、「サステナを体験できるホテル」として掲載された。(2023年1月30日)

<https://sdgsmagazine.jp/2023/01/30/9057/>